

安保・戦争国会粉碎へ！

全学連（斎藤郁真委員長） 書記局通信

2015年4月18日
No.286

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

全国大学で新歓講演会企画が大成功！

京都大学

京都大では4月14日に、新入生歓迎企画として「大学を反戦のとりでに」と題して鈴木達夫弁護士の講演会を開催しました。はじめに主催者が、学生が反戦闘争に立ち上がる意義を訴えました。

鈴木弁護士の講演では、現在の激動情勢と講師自らの闘いの経験が熱く語られ、「実際に戦争が始まり核戦争まで準備される人類史の危機的状況にあって、労働者階級の闘いによって新たな時代をつくり上げよう！」と呼びかけられました。

討論では、会場の学生から「『大学を安保粉碎・日帝打倒の砦に』と『帝大解体』との意義の違い」、「農村計画の研究室でドローン（無人飛行機）を購入して研究しよう



鈴木弁護士の熱い訴えに聞き入る新入生(京都大)

としているがどう捉えるべきか」、「(他大での)大学当局の一方的な自転車規制に運動を始めたいがどうしたらよいか」、「鈴木さんが活動家になったきっかけは何か」という質問が次々上がり、非常に盛り上がりました。最後に司会から、4・28沖縄デー闘争への結集が呼びかけられました。(京大・H)

沖縄大学

沖縄大学学生自治会は4月14日、「学生の力で戦争への道を阻もう！ 辺野古新基地建設とめよう！」と題した新歓講演会を行い、新入生の参加を得て大成功を勝ち取りました！

講師は元全駐労マリン支部副委員長の水島満久さんと全学連書記長の坂野陽平さんです。

水島さんは、沖縄の怒りが全島ゼネスト情勢に発展する中、米軍基地を揺るがしてきた基地労働者の職場からの闘いが決定的だと語ってくれました。

坂野さんは、学生の貧困につけ込んだ経済的徴兵制を狙い、戦争に突き進む安倍政権を、4・28沖縄デー闘争の大デモで打倒しようと訴えました。

参加した新入生は、2人の訴えに熱心に聞き入っていました。最後に、赤嶺自治会委員長が行動方針を提起。

戦争法案粉碎！ 安倍たおせ！

<6・15国会包囲大闘争>

6月15日(月) 終日、国会デモや座り込み行動<予定>

<4・28沖縄デー闘争>

～日米新ガイドライン締結阻止！ 辺野古新基地建設許すな！～

4月28日(火) 12時半 法政大・市ヶ谷キャンパス集合(13時半にデモ出発)

16時 新橋駅から国会へデモ

(終了後に国会議事堂前で座り込み行動)



自治会運動に参加し、沖大当局の弾圧をうち破る沖大生の大決起をつくりだそうと訴えました。4・28沖縄デー闘争ー5月沖縄闘争の爆発、自治会選挙の勝利へ闘っていきます！（沖縄大学・K）

法大・首都圏

4月15日、全学連と法大文化連盟共催で「戦争への道を阻もう！ 鈴木達夫さん講演会」を新入生歓迎企画として行い成功しました。

講演会では、①学生運動の特徴と労働運動、②戦争の危機の時代を「支配階級の危機」「世界史の転換期」として捉えること、③圧倒的多数の労働者が生きていけない現実をゼネストに転化すること、何よりも、④学生自身が「天下国家」を語り全人民の利害を体現して闘いに立つこと、という4点が話されました。

鈴木さんの核心に迫る訴えに全参加が引き込まれていました。質疑応答では、新宿高校時代の闘いの教訓やNHKにおける日放労長崎分会の闘いなどが話され、革命の時代に生きる私たち学生にとっても非常に意義深いものでした。

最後に斎藤郁真全学連委員長がまとめと方針提起を行い、4・28沖縄デーと6・15国会包囲闘争を巨万の学生の大決起でかちとることを会場全体で確認し、新たに決意を固めました。（首都圏学生・M）



東京都内で行われた鈴木達夫さん講演会（4月15日）



全学連・坂野書記長が沖縄大生に熱い訴え

東北大学

東北大で4月14日、学生自治会主催の新歓講演会「イラク戦争12年と日本」が行われました。イラク戦争などを取材してきた綿井健陽さんを招き、新入生をはじめ多くの東北大生が集まり大成功しました。



東北大生に語る綿井健陽氏

冒頭に学生自治会委員長の澤田君が、戦争を進める安倍政権を弾劾し、沖縄「全島ゼネスト」のような闘いが戦争をとめる展望だと提起しました。

綿井さんは、03年開戦直後からイラク現地で撮影した映像を通し、戦争＝人を殺す生々しい実体が報告されました。「歴史に“If”はないが、“もし”イラク戦争が起きなかったら人質事件は起きなかっただろう」と、1月の日本人質事件の背景を述べられました。

講演会には飛び入り参加が多く、戦争への危機感の高まりを実感できました。「遠い国の出来事だと思っていたイラク戦争からの流れが急に身近に思えた。目を背けないでいきたい」（参加した一年生の感想）。戦争反対の怒りを団結した力へ組織する学生自治会として、新歓決戦の成功から沖縄・安保国会粉碎の闘いに攻め上ります。（東北大・R）

【当面する行動方針】

○5/16～18沖縄現地闘争ー辺野古新基地建設阻止！ー

5月16日（土）～18日（月） ひめゆり資料館見学、辺野古現地訪問、県民集会参加、沖縄大で集会など

○武田雄飛丸君「無期停学」処分撤回裁判・第10回＝判決

6月29日（月）11時～ 東京地裁419号法廷にて

※傍聴券配布のため、10時半までに裁判所入口脇に集合してください。

